

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

博士後期課程

学生募集要項

2026年10月入学

2027年 4月入学(第1回・第2回)

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, DENTISTRY AND
PHARMACEUTICAL SCIENCES

OKAYAMA UNIVERSITY

<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp>

目 次

I	募集人員	1 ページ
II	入試日程	1 ページ
III	一般入試	2 ページ
IV	進学者選考	9 ページ
V	入学検定料支払の流れ	13 ページ
VI	薬科学専攻（博士後期課程）案内	16 ページ

入学試験に関する照会先

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1
岡山大学医療系事務部
薬学系事務室教務学生担当

TEL 086-251-7923（直通）

学生募集要項の冊子での配布は行いません。
薬学部ホームページより募集要項及び出願書類をダウンロードの上、出願してください。

【URL：<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】

医歯薬学総合研究科薬科学専攻博士後期課程 教育の方針

教育の基本的目標

医歯薬学総合研究科薬科学専攻博士後期課程は、博士前期課程を修了し、創薬・育薬に関する専門知識を基盤として、医薬品創製を中心とする薬科学の高度な専門知識を習得し、創造性豊かで国際社会において高く評価される研究力を備え、教育・研究機関、産業界、衛生行政などの分野で主導的役割を果たす人材の育成を行います。

養成する人材像

すべての人の健康の向上のため最先端の創薬・育薬研究を主導する先駆的研究者

創薬・育薬を中心とする薬学および関連分野を先導し、広く人類の健康に貢献する国際水準の研究と教育を推進しています。これらの研究・教育活動を通じて、深い教養と高度な専門性、さらには、社会をリードする実践力と自ら成長し続ける探求心を有し、得られた成果を世界に発信できるコミュニケーション力を備えた、薬学および関連分野の研究者や大学教員、高度な専門性を有する行政職員として社会の要請に応える人材を養成します。

以下、5つの力を持つ人材を養成します。

- 論理的に考案し、多面的な検討から新知見を得ることができる実践力
- 独創的に解明できる探究力
- 成果を発信、議論できるコミュニケーション力
- 個々の知識を統合して発揮できる専門力
- 問題点を整理し、課題解決に結びつけることができる教養力

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

医歯薬学総合研究科薬科学専攻博士後期課程は、以下に掲げた力を身につけた人材を求めます。

求める人材像

医歯薬学総合研究科薬科学専攻博士後期課程では、次のような学生を求めます。

- 1 最先端の研究動向を把握し、地域から国際社会まで幅広く普遍的に貢献する研究者・教育者

を志す人

- 2 創薬・育薬に関する専門的知識を統合した学際的研究を志す人
- 3 世界をリードする先端的・独創的研究を推進し、研究成果を発信する人
- 4 創薬・育薬に関する高度で幅広い知識を習得し、科学の進歩に適応しうる問題解決能力を涵養する人
- 5 入学後は、薬学研究者・教育者に求められる高度な専門知識や研究遂行能力を積極的かつ主体的に学ぶ人

求める力

【実践力】

課題に対する解決策を自ら考案・実践できる

【探求力】

独自の専門力を駆使して、創薬・育薬に関する課題に迫ることができる

【コミュニケーション力】

成果を多角的にまとめ、他者と相互に意見交換できる

【専門力】

研究を自ら立案・遂行するための専門性の高い知識と技能を有する

【教養力】

幅広い視野をもち、様々な問題を解決するために必要な情報や知識を習得できる

選抜方針

幅広く多様な人材を確保するため、一般入試、進学者選考を複数の日程で実施します。

選抜方法

口述試験と外部英語試験、および出願書類により評価を行い、医歯薬学総合研究科薬科学専攻博士後期課程での学修に足る学力、適正を測ります。

選抜方針・各選抜方法の具体的な考え方

- (1) 一般入試 広く大学院博士後期課程進学希望者を対象とした入試で、口述試験と外部英語試験、および出願書類により評価を行います。口述試験では、志望する教育研究分野の専門科目

により、専門研究分野に関する知識および理解力【専門力】、更には課題解決・探求力【実践力・探求力】について評価を行うとともに、出願書類とあわせて研究を遂行する上で必要とされる情報収集・発信能力、幅広い視野、主体的に学ぶ態度など【教養力・コミュニケーション力】について総合的な判断を行います。英語能力については、外部英語試験の成績により評価します。

- (2) 進学者選考 本学大学院博士前期課程又は修士課程を修了し、大学院博士後期課程への進学希望者を対象とした入試で、口述試験と外部英語試験、および出願書類により評価を行います。口述試験では、志望する教育研究分野の専門科目により、専門研究分野に関する知識および理解力【専門力】、更には課題解決・探求力【実践力・探求力】について評価を行うとともに、出願書類とあわせて研究を遂行する上で必要とされる情報収集・発信能力、幅広い視野、主体的に学ぶ態度など【教養力・コミュニケーション力】について総合的な判断を行います。英語能力については、外部英語試験の成績により評価します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

- ・研究を遂行する上で必要とされる創薬・育薬に関連する科学的基礎学力に加えて、希望する教育研究分野に関する専門的な知識と実験技術
- ・英語論文作成および国内外での研究発表や討論に必要な英語能力

自然災害や感染症の発生等により、試験の延期や実施方法の変更を行う場合があります。
試験の延期や実施方法の変更を行う場合は、決まり次第以下のHPでお知らせします。

URL:<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/>

I 募集人員

専攻	2027年4月入学募集人員	2026年10月入学募集人員
薬科学専攻	6人	若干人

※ 募集人員には、進学者選考での若干人を含みます。

II 入試日程

(第1回)

試験	2026年10月入学 2027年4月入学(第1回)
出願期間	2026年7月3日(金) ～ 2026年7月9日(木) 17時(必着)
試験日	2026年8月20日(木)
合格者発表	2026年9月11日(金)

(第2回)

試験	2027年4月入学(第2回)
出願期間	2026年12月1日(火) ～ 2026年12月8日(火) 17時(必着)
試験日	2027年1月8日(金)
合格者発表	2027年2月5日(金)

Ⅲ 一般入試

1 出願資格

次のいずれかに該当する者又は2027年3月（2026年10月入学の入学志願者については2026年9月）までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの

注1 岡山大学大学院博士前期課程又は修士課程を修了見込みの方は、「Ⅳ 進学者選考（8ページ）」により出願してください。

注2 出願資格(2)に定める「外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者」とは、外国において、日本の修士課程に対応する課程を修了した者で、学校教育課程年数が18年以上の者をいいます。

なお、学校教育課程年数が18年未満の者のうち日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間研究に従事している者は、出願資格を有するものとします。

注3 出願資格(3)に定める「外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者」の学校教育課程年数及び通算修学年数の取り扱いは、前記(2)と同じです。

注4 出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当する者で、大学等を卒業又は修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事し、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有するものとします。（出願資格審査申請が必要です。2の「出願資格における個別の入学資格審査」をご覧ください。）

- ① 大学を卒業した者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

注5 出願資格(8)に定める「大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」とは、出願資格の審査として本研究科で書類審査の後に学力検査（筆記試験、口頭試問）及び面接を行い合格した者としてします。（出願資格審査申請が必要です。2の「出願資格における個別の入学資格審査」をご覧ください。）ただし、提出書類等により、個人の能力の確認ができる場合は、筆記試験は省略することがあります。

なお、学力検査等の実施日程、実施方法等については個別に連絡します。

2 出願資格における個別の入学資格審査

前記1の出願資格(7)又は(8)における入学志願者は、出願の前に、入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、「出願資格審査提出書類」を期限までに提出してください。

出願資格審査に必要な書類等のうち、様式が指定されているものについては、薬学系ホームページよりダウンロードの上、提出してください。

【URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】

提出先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学医療系事務部 薬学系事務室教務学生担当 TEL(086)251-7923	
申請書類提出 締め切り期限	2026年5月29日(金)(第1回)	2026年10月30日(金)(第2回)

出願資格審査提出書類

(1) 出願資格認定申請・ 調書	薬学系ホームページよりダウンロードし、印刷したものに記入等の上、提出してください。
(2) 業績調書	薬学系ホームページよりダウンロードし、印刷したものに記入等の上、提出してください。(専攻分野に関連する研究業績等について、客観的知見等を簡明に記載してください。 なお、学術論文等は、別刷り又はその写しを添付し、研究発表の場合は、その要旨又は概要を添付してください。
(3) 研究従事内容証明書	薬学系ホームページよりダウンロードし、提出してください。(所属機関等が作成したもの)
(4) 成績証明書 (最終学歴)	最終出身学校長が作成したもの
(5) 卒業証明書 (最終学歴)	最終出身学校長が作成したもの
(6) 資格免許証等	専攻分野に関連する各種免許証等参考になるとと思われる書類の写し(A4版にコピーして簡単な説明を付してください。)

3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書及び障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて相談してください。	
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学医療系事務部 薬学系事務室教務学生担当 TEL(086)251-7923	
相談締め切り期限	2026年5月29日(金)(第1回)	2026年10月30日(金)(第2回)

4 出願手続

(1) 出願方法

入学志望者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送又は持参してください。

出願に必要な書類等のうち、様式が指定されているものについては、薬学系ホームページよりダウンロードの上、提出してください。

【URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】

(2) 出願期間

2026年 7月 3日 (金) から2026年 7月 9日 (木) 17時 (必着) (第1回)

2026年12月 1日 (火) から2026年12月 8日 (火) 17時 (必着) (第2回)

(注) 持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。(土日を除きます。また、12時から13時までを除きます。)

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1
岡山大学医療系事務部
薬学系事務室教務学生担当
TEL (086) 251-7923

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。
- ⑥ 16～19ページの「VI 薬科学専攻(博士後期課程)案内」により、講座・教育研究分野・研究内容・担当教員の一覧表を参照するとともに、第1志望教育研究分野の担当教員に、教育研究内容等について事前に面談の上、記入してください。
※「VI 薬科学専攻(博士後期課程)案内」は2026年10月入学者用と2027年4月入学者用に分かれているので注意してください。

(5) 出願に必要な書類等

① 入学願書, 履歴書, 受験票	薬学系ホームページよりダウンロードし, 印刷したものに記入等の上, 提出してください。 電話番号, E-mailは確実に連絡が取れるものを記入し, E-mailは岡山大学からのメール (@adm.okayama-u.ac.jp) が受信できるように設定してください。
② 写 真	縦4.0～5.0cm×横3.0～4.0cm, 出願前3か月以内に上半身, 無帽, 正面向きで撮影したものを2枚を入学願書及び受験票の所定の欄に貼り付けてください。 ※写真の裏面に氏名を記載すること。 ※本人確認の判定基準に影響する加工を行わないこと。
③ 入学検定料	30,000円(手数料が別に必要です) 12ページの「V 入学検定料支払の流れ」に従って, コンビニエンスストア, クレジットカード, 郵便局・銀行ATM, ネットバンキングいずれかでお支払いください。 支払完了後, 「入学検定料支払証明書」を印刷し, 受験票下の所定欄にのりで貼り付けてください。 出願期間の1ヶ月前から入学検定料のオンライン手続きが可能です。

	<p>なお、支払手続時に登録する「課程」は「博士後期課程」を選択してください。また、支払手続時に登録する「氏名」「住所」等は、合格通知及び入学手続書類等の送付先として使用しますので、確実に受理できる住所を登録してください。</p> <p>【入学検定料の返還について】</p> <p>次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しません。</p> <p>ア 入学検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合</p> <p>イ 入学検定料を誤って二重に支払った場合</p> <p>ウ 下記入学検定料の免除に該当する者が、出願期間内に証明書等の取得が困難なため、入学検定料を支払い、所定の出願手続を行った場合</p> <p>【入学検定料の免除について】</p> <p>本学では、2025年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の措置を講じます。</p> <p>※ 詳細については、本学のホームページ (https://www.okayama-u.ac.jp) から「入試」→「入学検定料の免除手続き」をご確認ください。</p>
④ 成績証明書	<p>出身大学の学長又は学部長が作成したもの及び出身大学院の学長又は研究科長が作成したものの両方が必要です。</p> <p>英語以外の外国語で書かれた証明書には、必ず、その日本語訳を添付してください。</p>
⑤ 修了証明書又は修了見込証明書	<p>博士前期課程（修士課程）若しくは専門職大学院のもの。</p> <p>英語以外の外国語で書かれた証明書には、必ず、その日本語訳を添付してください。</p>
⑥ 住民票	<p>日本在住の外国人の入学志願者のみ</p> <p>市区町村長が発行したもの(在留資格・在留期間が記載されたもの)</p>
⑦ パスポートの写し	<p>外国人の入学志願者のみ提出してください。パスポートの名前、生年月日等が確認できるページの写しを提出してください。</p>
⑧ 学位論文等	<p>次のいずれかを提出してください。</p> <p>ア 修士の学位を有する者は、修士論文の写し及び論文の要旨（薬学系ホームページよりダウンロードした用紙で2,000字程度）各1部</p> <p>イ 修士課程修了見込みの者及び1の出願資格(7)又は(8)により出願する者は、研究経過報告書（薬学系ホームページよりダウンロードした用紙で2,000字程度）なお、研究発表等の資料があれば添付してください。</p> <p>※いずれの場合も英語以外の外国語で書かれたものは、必ず、その日本語訳又は英語訳を添付してください。</p>
⑨ 研究計画書	<p>薬学系ホームページよりダウンロードした用紙で提出してください。</p>
⑩ 履歴書及び研究従事内容証明書	<p>1の出願資格(2)～(3)に該当する者については、学校教育課程年数及び研究歴を確認しますので、薬学系ホームページよりダウンロードした用紙に必要事項を記載して提出してください。</p>
⑪ 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書	<p>1の出願資格(6)に該当する者については、当該審査を行った学校等の長(学長、施設長等)が作成した、「博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書」(薬学系ホームページ掲載の「様式例」参照)及び、その添付資料として「当該審査の合格とその学校等における修士の学位の授与要件の関係を示す資料」</p>
⑫ 英語能力試験の成績証明書等	<p>2022年4月1日以降に受験した下表に示すいずれかの英語能力試験の成績証明書等を提出してください。各試験実施団体が発行・郵送する成績証明書等の原本を提出する場合は、後日返却します。成績証明書等の写しを提出する場合は、後日原本の提出を求める場合があります。出願時に成績証明書等を提出出来ない場合は、理由書を提出してください。</p>

	英語能力試験	提出する成績証明書等
	TOEIC公開テスト又はTOEIC団体特別受験制度（IPテスト）	Official Score Certificate（公式認定証） ※TOEIC申込サイトから出力したOfficial Score Certificate（デジタル公式認定証）【PDF】を印刷し、提出することも認めます。
	TOEFL-iBT	Test Taker Score Report ※ETSアカウントから出力したTest Taker Score Report【PDF】を印刷し、提出することも認めます。
	IELTS (overall score)	成績証明書（Test Report Form） ※Test taker Portalから出力した成績証明書(eTRF)【PDF】を印刷し、提出することも認めます。
※いずれもオンライン試験によるものは認めない		
⑬ 受験票等送付用封筒	<p>受験票は、交付の準備ができ次第連絡しますので、薬学系教務学生担当まで取りに来てください。郵送を希望される方は、長形3号封筒(23.5cm×12cm)に、受験票の送付先(入学志願者本人の郵便番号、住所、氏名)を明記し、410円分の切手を貼ってください。海外在住の方は出願前にご相談ください。</p>	

【 注意事項 】

- ① 外国人留学生の方で、日本語能力試験2級以上、若しくはN2以上の証明書を保有している場合は、併せて提出してください。
- ② 出願資格審査で、出願資格が有と認定された入学志願者は、④及び⑤の証明書の提出は不要です。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については、入学願書に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名(漢字・カナ)の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

本研究科の教育・研究活動の支援および卒業生との連携を目的として、本研究科が認める同窓会等の団体(岡山大学 Alumni(全学同窓会)、薬友会、薬学振興会)と個人情報(合格者の所属研究科・課程・専攻名、氏名、現住所)を共同利用する場合があります。

5 受験票の交付

- (1) 受験票は、下記のとおり本人あて発送します。
なお、到着しない場合には、次の連絡先に連絡してください。

岡山大学医療系事務部薬学系事務室教務学生担当 TEL (086) 251-7923

	2026年10月入学 2027年4月入学(第1回)	2027年4月入学(第2回)
送付時期	2026年7月31日(金)	2026年12月10日(木)
到着予定日	2026年8月4日(火)	2026年12月14日(月)

- (2) 受験票は、試験当日及び入学手続の際に必要なとなりますので、大切に保管しておいてください。

6 入学者選抜方法等(第1回)(第2回)

入学者の選抜は、口頭試問、外部英語試験(英語能力試験)及び出願書類等を総合して行います。口頭試問は、修士学位論文及び研究計画書等を中心に行います。

なお、必要に応じて口頭試問の中で、英語(外国人留学生に対しては日本語)の能力に関する試問を行います。

また、書類審査等で能力が十分判定できる場合には、口頭試問を省略する場合があります。
 自然災害や感染症の発生等により、試験の延期や実施方法の変更を行う場合があります。試験の延期や実施方法の変更を行う場合は、決まり次第以下のHPでお知らせします。

URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/>

(1) 試験日程

試験日	試験内容	試験時間
第1回 2026年 8月20日(木)	口頭試問	9時30分～
第2回 2027年 1月 8日(金)	口頭試問	9時30分～

※ 試問場所は、指導予定教員から後日連絡します。

(2) 試験場

岡山大学薬学部1号館 【岡山市北区津島中1-1-1】

- ① JR岡山駅運動公園口(西口)から「47」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② JR岡山駅後楽園口(東口)から「17」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ JR津山線「法界院駅」下車、徒歩約15分

7 合格者発表

(1) 合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

	日 時	掲 示 場 所
2026年10月入学 2027年4月入学(第1回)	2026年9月11日(金) 10時(予定)	薬学部1号館前 掲示板
2027年4月入学(第2回)	2027年2月5日(金) 10時(予定)	薬学部1号館前 掲示板

① 合格者には、医療系事務部薬学系事務室教務学生担当の窓口で、合格通知書等を交付します。(本学に在籍していない合格者には、合格通知書を郵送します。)

② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

【URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】

③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

(1) 入学手続方法

詳細は、「入学案内」により通知します。

(2) 入学手続期間

2026年10月入学	2027年4月入学
2026年9月16日(水)及び17日(木)	2027年3月8日(月)及び9日(火)

9 その他

(1) 入試に関する緊急のお知らせは、以下のホームページに掲載するとともに、志願票に記載されたメールアドレスあてに連絡します。

【URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】

(2) 学費

入学金 282,000円 [予定額]

授業料(前半期分) 267,900円(年額535,800円) [予定額]

※ なお、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

(3) 修学援助

修学援助の一環として、入学金免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

10 昼夜開講制について

本専攻では、社会人の受講に便宜を図るため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（昼夜開講制）を適用し、昼間だけでなく夜間等（土曜日、夏季・冬季休暇など）においても授業及び研究指導を行っています。

IV 進学者選考

1 出願資格

本学大学院博士前期課程又は修士課程を、2026年10月進学の出願者については2026年9月、2027年4月進学の出願者については2027年3月に修了する見込みの者

2 障がい等のある方の出願

障がい等のある出願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書及び障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて相談してください。	
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学医療系事務部 薬学系事務室教務学生担当 TEL(086)251-7923	
相談締め切り期限	2026年5月29日(金)(第1回)	2026年10月30日(金)(第2回)

3 出願手続

(1) 出願方法

進学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を出願期間内に持参してください。

なお、進学志願者は、進学後の指導予定教員にあらかじめ連絡してください。

また、出願に必要な書類等のうち、様式が指定されているものについては、薬学系ホームページよりダウンロードの上、提出してください。

【URL：<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】

(2) 出願期間

2026年 7月 3日(金) から2026年 7月 9日(木) 17時(必着) (第1回)

2026年12月 1日(火) から2026年12月 8日(火) 17時(必着) (第2回)

(注) 持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。(土日を除きます。また、12時から13時までを除きます。)

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1
岡山大学医療系事務部
薬学系事務室教務学生担当
TEL(086)251-7923

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。

- ③ 出願書類に不備があるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、進学後においても進学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓（名）の日付と新旧姓（名）を進学志願者本人が記入した文書（様式は任意です。）を添付してください。
- ⑥ 16～19ページの「VI 薬科学専攻（博士後期課程）案内」により、講座・教育研究分野・研究内容・担当教員の一覧表を参照するとともに、第1志望教育研究分野の担当教員に、教育研究内容等について事前に面談の上、記入してください。
 ※「VI 薬科学専攻（博士後期課程）案内」は2026年10月入学者用と2027年4月入学者用に分かれているので注意してください。

(5) 出願に必要な書類等

① 進学願書・履歴書・受験票	薬学系ホームページよりダウンロードし、印刷したものに記入等の上、提出してください。 電話番号、E-mailは確実に連絡が取れるものを記入し、E-mailは岡山大学からのメール (@adm.okayama-u.ac.jp) が受信できるように設定してください。 本学に在籍する志願者は、岡山大学Gmailのアドレスを記入してください。		
② 写 真	縦4.0～5.0cm×横3.0～4.0cm、出願前3か月以内に上半身、無帽、正面向きで撮影したもの2枚を進学願書及び受験票の所定の欄に貼り付けてください。 ※写真の裏面に氏名を記載すること。 ※本人確認の判定基準に影響する加工を行わないこと。		
③ 成績証明書	博士前期課程（修士課程）成績証明書を提出してください。		
④ 研究経過報告書	薬学系ホームページよりダウンロードした用紙で2,000字程度		
⑤ 研究計画書	薬学系ホームページよりダウンロードした用紙で提出してください。		
⑥ 英語能力試験の成績証明書等	2022年4月1日以降に受験した下表に示すいずれかの英語能力試験の成績証明書等を提出してください。各試験実施団体が発行・郵送する成績証明書等の原本を提出する場合は、後日返却します。成績証明書等の写しを提出する場合は、後日原本の提出を求める場合があります。出願時に成績証明書等を提出出来ない場合は、理由書を提出してください。		
	<table border="1" data-bbox="416 1375 1430 1420"> <tr> <td data-bbox="416 1375 791 1420">英語能力試験</td> <td data-bbox="791 1375 1430 1420">提出する成績証明書等</td> </tr> </table>	英語能力試験	提出する成績証明書等
	英語能力試験	提出する成績証明書等	
	TOEIC公開テスト又はTOEIC団体特別受験制度（IPテスト）	Official Score Certificate（公式認定証） ※TOEIC申込サイトから出力したOfficial Score Certificate（デジタル公式認定証）【PDF】を印刷し、提出することも認めます。	
	TOEFL-iBT	Test Taker Score Report ※ETSアカウントから出力したTest Taker Score Report【PDF】を印刷し、提出することも認めます。	
IELTS（overall score）	成績証明書（Test Report Form） ※Test taker Portalから出力した成績証明書（eTRF）【PDF】を印刷し、提出することも認めます。		
※いずれもオンライン試験によるものは認めない			
⑦ パスポートの写し	外国人の進学志願者のみ提出してください。パスポートの名前、生年月日等が確認できるページの写しを提出してください。		
⑧ 受験票等送付用封筒	受験票は、交付の準備ができ次第連絡しますので、薬学系教務学生担当まで取りに来てください。郵送を希望される方は、長形3号封筒（23.5cm×12cm）に、受験票の送付先（入学志願者本人の郵便番号、住所、氏名）を明記し、410円分の切手を貼ってください。		

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については、志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

本研究科の教育・研究活動の支援および卒業生との連携を目的として、本研究科が認める同窓会等の団体（岡山大学 Alumni（全学同窓会）、薬友会、薬学振興会）と個人情報（合格者の所属研究科・課程・専攻名、氏名、現住所）を共同利用する場合があります。

4 受験票の交付

(1) 受験票は、下記のとおり本人あて発送します。

なお、到着しない場合には、次の連絡先に連絡してください。

岡山大学医療系事務部薬学系事務室教務学生担当 TEL (086) 251-7923

	2026年10月入学 2027年4月入学（第1回）	2027年4月入学（第2回）
送付時期	2026年7月31日（金）	2026年12月10日（木）
到着予定日	2026年8月4日（火）	2026年12月14日（月）

(2) 受験票は、試験当日及び進学手続の際に必要なとなりますので、大切に保管しておいてください。

5 進学者選抜方法等（第1回）（第2回）

進学者の選抜は、口頭試問、外部英語試験（英語能力試験）及び出願書類等で総合して行います。

口頭試問は、研究経過報告書及び研究計画書等を中心に行います。

なお、必要に応じて口頭試問の中で、英語（外国人に対しては日本語）の能力に関する試問を行います。

また、書類審査等で能力が十分判定できる場合には、口頭試問を省略する場合があります。

自然災害や感染症の発生等により、試験の延期や実施方法の変更を行う場合があります。試験の延期や実施方法の変更を行う場合は、決まり次第以下のHPでお知らせします。

URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/>

(1) 試験日程

試験日	試験科目	試験時間
第1回 2026年 8月20日（木）	口頭試問	9時30分～
第2回 2027年 1月 8日（金）	口頭試問	9時30分～

※ 試問場所は、指導予定教員から後日連絡します。

(2) 試験場

岡山大学薬学部1号館 【岡山市北区津島中1-1-1】

- ① JR岡山駅運動公園口（西口）から「47」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② JR岡山駅後楽園口（東口）から「17」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ JR津山線「法界院駅」下車、徒歩約15分

6 合格者発表

- (1) 合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

	日 時	掲 示 場 所
2026年10月入学 2027年4月入学（第1回）	2026年9月11日（金） 10時（予定）	薬学部1号館前 掲示板
2027年4月入学（第2回）	2027年2月5日（金） 10時（予定）	薬学部1号館前 掲示板

- ① 合格者には、医療系事務部薬学系事務室教務学生担当の窓口で、合格通知書等を交付します。
② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
【URL：<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】
③ 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

7 進学手続

- (1) 進学手続方法
詳細は、「入学案内」により通知します。

- (2) 進学手続期間

2026年10月入学	2027年4月入学
2026年9月16日（水）及び17日（木）	2027年3月8日（月）及び9日（火）

8 その他

- (1) 入試に関する緊急のお知らせは、以下のホームページに掲載するとともに、志願票に記載されたメールアドレスあてに連絡します。

【URL：<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】

- (2) 学費

検定料及び入学料は不要です。

授業料（前半期分） 267,900円（年額 535,800円） [予定額]

※ なお、進学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

- (3) 修学援助

修学援助の一環として、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

9 昼夜開講制について

本専攻では、社会人の受講に便宜を図るため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（昼夜開講制）を適用し、昼間だけでなく夜間等（土曜日、夏季・冬季休暇など）においても授業及び研究指導を行っています。

V 入学検定料支払の流れ

入学検定料支払の流れは、以下のとおりです



STEP 1
事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを
用意してください。
(スマートフォン、タブレットは非推奨)

STEP 2
入学検定料支払サイトにアクセス

日本語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-jpn>
または、
英語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-eng>
または、
大学
ホームページ <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html>
からアクセス

STEP 3
個人情報の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①試験方式、研究科等

②テスト送信メールの確認
テストメール送信を行い、登録アドレスにテストメール受信の確認後、メールアドレス下の【メール確認済】のチェックを入れてください。

③個人情報(氏名・住所等)

④申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。個人情報を確認する場合、入学検定料支払証明書を出力する際に必要になります。

⑤入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

⑥入学検定料支払証明書(イメージ)

「支払済内容を確認・印刷」ボタンより、受付番号(*), 生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願書の出力ができます。

受付番号(12桁)メモ
227484221761

登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、個人情報登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い方法

1 クレジットカードでの支払い

個人情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

個人情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、

FamilyMart



各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

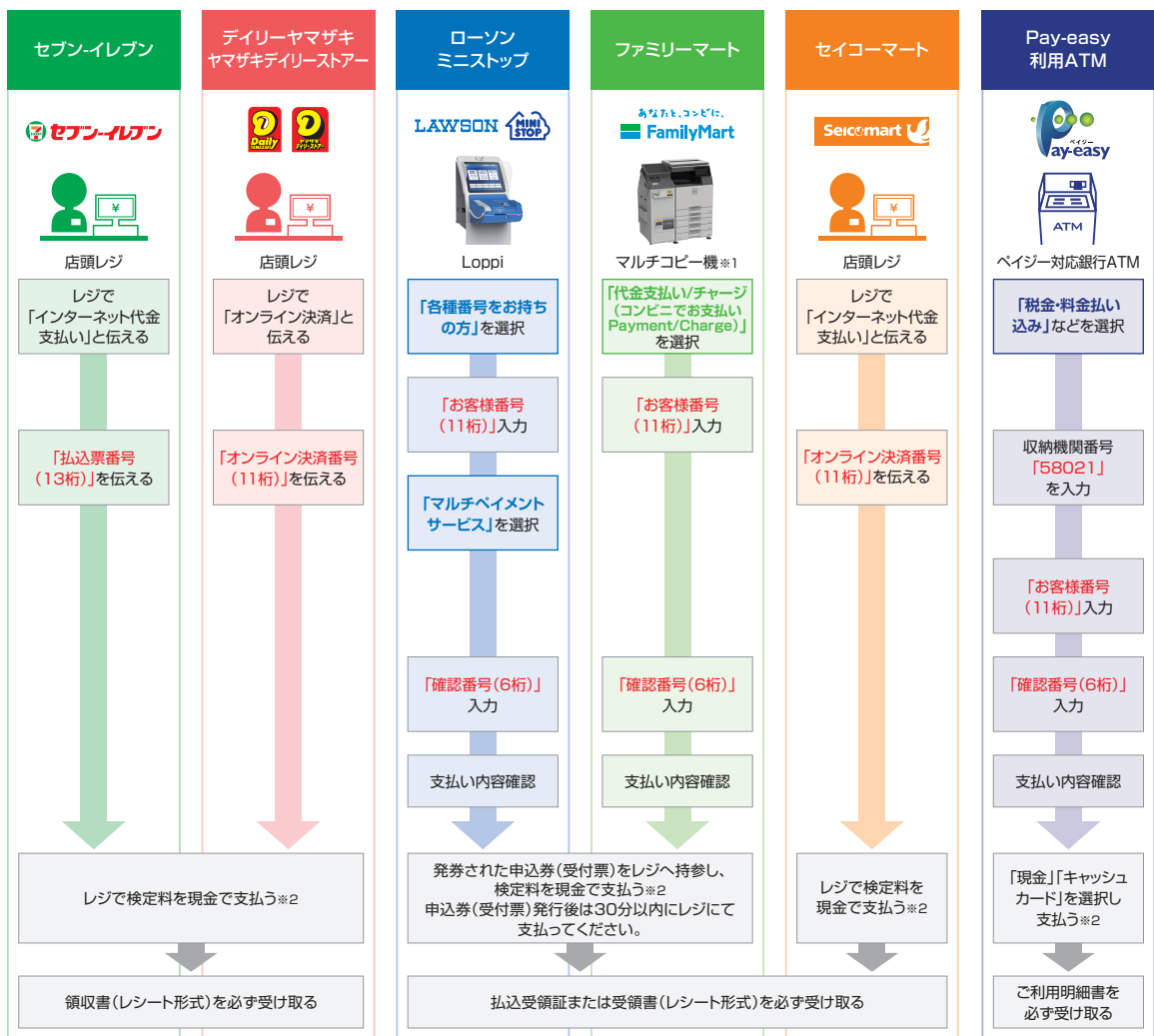
4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

3 コンビニエンスストア



※1:店舗によっては、マルチコピー機でなくfamiポートを利用する場合があります。

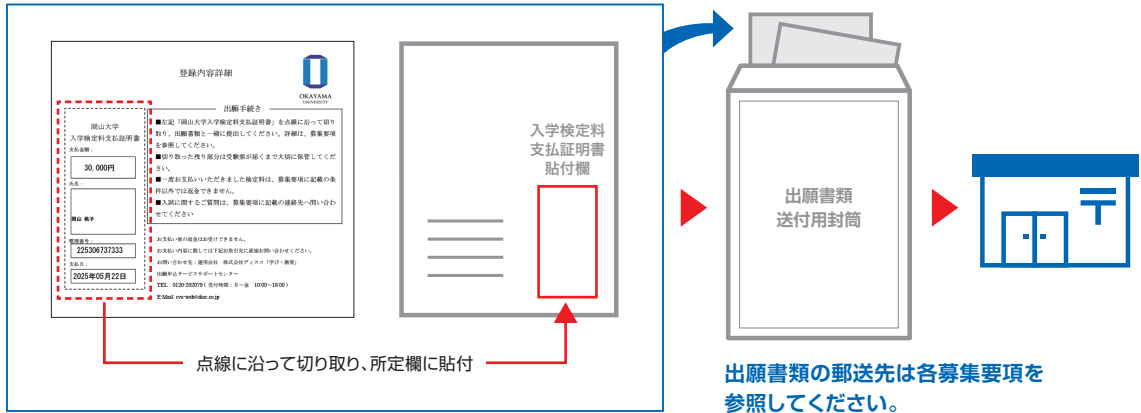
※2:ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

5

入学検定料支払証明書の印刷

個人情報登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、入学検定料支払証明書を点線に沿って切り取り、所定欄へ添付してください。その他の出願に必要な書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。※出願締切日は各募集要項を参照してください。



〈支払完了〉

出願時の
注意点

出願は学生募集要項記載の必要書類と入学検定料支払証明書を併せて郵送して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

支払は24時間可能です。個人情報登録、入学検定料の支払は出願締切日17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

VI 薬科学専攻(博士後期課程)案内【2026年10月入学】

講座	教育研究分野		担当教員
	名称	内容	
創薬分子生命科学	創薬有機化学	有機合成化学の新手法・戦略の開拓と生物活性天然物の全合成に基づく医薬開発(天然物創薬)に関する教育・研究を行う。	好光 健彦 教授
	合成医薬品開発学	有機合成化学を基盤とした標的組織への薬物送達技術の開拓、ADMEを考慮した合成医薬品候補物質の分子設計と活性評価、構造活性相関に関する教育・研究を行う。	(加来田 博貴 准教授)
	天然物化学	未利用生物資源を利用して、新規天然有機化合物の探索や未解明な生合成機構の解明に取り組むことにより、新たな生命現象の理解と医薬品開発に資する教育・研究を行う。	久保田 高明 教授
	生体機能分析学	物理的診断法(画像診断)のための各種分子プローブや核医学治療薬の開発と、生体分子イメージング技術に基づく生体機能の非侵襲的分析や疾患の病態解明・治療などに関する教育・研究を行う。	上田 真史 教授
	再生治療薬学	治療法の存在しない難治性疾患の克服を目指し、細胞治療製剤・遺伝子治療製剤の創製を研究課題とし、再生医療製剤の設計と評価に関する教育・研究を行う。	堀口 道子 教授
	生体膜生理化学	医学・薬学的に重要な神経伝達物質トランスポーターと脂溶性物質トランスポーターの構造・分子機構・生理的意義に関する教育・研究を行う。	(表 弘志 准教授)
	薬物動態制御学	医薬品の体内動態特性の評価や治療標的分子の探索から得られた知見を基盤として、体内動態制御や標的指向化を付与したDDS製剤の開発を目指す。これらの研究を通じて、医薬品の有効性・安全性の向上を目的とした製剤開発に関する教育・研究を行う。	(丸山 正人 准教授)
	分子生物学	細菌と宿主生物の相互作用メカニズムについて生化学および遺伝学的解析を行い、感染症および免疫関連疾患に対する創薬を目指した教育・研究を行う。	垣内 力 教授
	医薬品信頼性科学	社会薬学を基盤に、多様なモダリティを活用した低品質・偽造医薬品の製剤学的実態の解明と検出法の開発、ならびに医薬品流通の社会的背景を踏まえた方策の提言を通じて、科学的根拠に基づく医薬品セキュリティ強化に資する教育・研究を行う。	吉田 直子 教授
	生物物理化学	光や電気などの物理的刺激を利用した生命現象の多様な時空間スケールでの解析・理解・利用を通じて、薬学における物理化学の視点からの教育・研究を行う。	須藤 雄気 教授
	統合生化学	生化学を基盤とし、分子から個体までを繋ぐ統合的アプローチにより、輸送体(トランスポーター)の生理的・病態的役割を解明する。さらに、その分子メカニズムに基づく創薬基盤を構築し、次世代のトランスポーター創薬に資する教育・研究を行う。	宮地 孝明 教授
	核酸創薬化学	生体関連分子の分子認識能を基にした独特な複素環化合物の分子設計と有機合成化学的研究および、それらの生化学的機能評価研究を通じて、革新的な次世代医薬品開発の基盤構築に関する教育・研究を行う。	谷口 陽祐 教授

安（ 全携 講 評 価 座） 性 評 価 学	医薬品評価学	ヒトiPS細胞や臓器チップ、インシリコなどを活用し、医薬品や化学物質、ワクチン等に関する薬理作用・安全性、発現機序、新規試験法の開発などの研究を行う。これらを通じて、規制行政に資する教育・研究を行う。	諫田 泰成 客員教授
	生物有機化学	生理活性物質の合成・構造と機能・反応性・生体分子との相互作用に関する有機化学的研究を通じて、革新的な低分子・中分子医薬品開発の基盤となるケミカルバイオロジーに関する教育・研究を行う。	出水 庸介 客員教授
	医薬安全科学	医薬品の副作用回避を目的に、重症薬疹、薬剤性間質性肺炎、横紋筋融解症などの重篤副作用に関して、その発現要因、診断バイオマーカーの探索、発現機序、その行政利用について、主として医療情報データベース、臨床試料及び培養細胞等を対象にした研究を行う。これらを通じて、製造販売後安全対策の重要性の理解促進に資する教育・研究を行う。	齊藤 公亮 客員教授 (荒川 憲昭 客員准教授)
	安全性予測評価学	有害性発現機序に基づいたin vitro試験データ、in silicoモデルおよび大規模毒性データベースなどを統合的に活用した化学物質の安全性予測評価手法の開発と信頼性向上、国際調和、行政利用促進に資する教育・研究を行う。	平林 容子 客員教授 増村 健一 客員教授 (足利 太可雄 客員准教授)
	先進毒性評価学	動物実験の精緻化、新規試験法、バイオマーカーの構築、ならびに毒性メカニズムの解析を通じ、安全性評価の高度化に向けた研究を行う。化学物質や食品関連物質を対象とした手法の信頼性・妥当性評価、およびリスク評価への統合的応用に関する研究を通じて、国際協調に基づいた評価体系のトランスレーション(移行)に資する教育・研究を行う。	山田 隆志 客員教授
生体 金属 作用 学） （連携 講 座）	分子病態学	メチル水銀を中心とした生体金属の作用を分子病態レベルで解析することによって、生体金属に起因する疾患の病因と特性について研究を行う。これらの過程を通じて、生体金属に起因する疾患の診断、予防および治療に資する教育・研究を行う。	藤村 成剛 客員教授 (永野 匡昭 客員准教授) (住岡 暁夫 客員准教授) (丸本 倍美 客員准教授)
	臨床病態解析学	メチル水銀中毒の代表的疾患である水俣病は、主に感覚野、視覚野、聴覚野、小脳が傷害される中枢神経疾患である。脳磁計・MRIを使って病態解析を行うとともに、磁気刺激治療による治療法を検討する。これらの過程を通じて、中枢神経疾患の診断および治療に資する教育・研究を行う。	中村 政明 客員教授

※1 他部局所属の協力教員を示します。

薬科学専攻(博士後期課程)案内【2027年4月入学】

講座	教育研究分野		担当教員
	名称	内容	
創薬分子生命科学	創薬有機化学	有機合成化学の手法・戦略の開拓と生物活性天然物の全合成に基づく医薬開発(天然物創薬)に関する教育・研究を行う。	好光 健彦 教授
	合成医薬品開発学	有機合成化学を基盤とした標的組織への薬物送達技術の開拓、ADMEを考慮した合成医薬品候補物質の分子設計と活性評価、構造活性相関に関する教育・研究を行う。	(加来田 博貴 准教授)
	天然物化学	未利用生物資源を利用して、新規天然有機化合物の探索や未解明な生合成機構の解明に取り組むことにより、新たな生命現象の理解と医薬品開発に資する教育・研究を行う。	久保田 高明 教授
	生体機能分析学	物理的診断法(画像診断)のための各種分子プローブや核医学治療薬の開発と、生体分子イメージング技術に基づく生体機能の非侵襲的分析や疾患の病態解明・治療などに関する教育・研究を行う。	上田 真史 教授
	再生治療薬学	治療法の存在しない難治性疾患の克服を目指し、細胞治療製剤・遺伝子治療製剤の創製を研究課題とし、再生医療製剤の設計と評価に関する教育・研究を行う。	堀口 道子 教授
	生体膜生理化学	(募集停止)	(表 弘志 准教授)
	薬物動態制御学	医薬品の体内動態特性の評価や治療標的分子の探索から得られた知見を基盤として、体内動態制御や標的指向化を付与したDDS製剤の開発を目指す。これらの研究を通じて、医薬品の有効性・安全性の向上を目的とした製剤開発に関する教育・研究を行う。	(丸山 正人 准教授)
	分子生物学	細菌と宿主生物の相互作用メカニズムについて生化学および遺伝学的解析を行い、感染症および免疫関連疾患に対する創薬を目指した教育・研究を行う。	垣内 力 教授
	医薬品信頼性科学	社会薬学を基盤に、多様なモダリティを活用した低品質・偽造医薬品の製剤学的実態の解明と検出法の開発、ならびに医薬品流通の社会的背景を踏まえた方策の提言を通じて、科学的根拠に基づく医薬品セキュリティ強化に資する教育・研究を行う。	吉田 直子 教授
	生物物理化学	【光をくすりにする研究】光応答タンパク質「ロドプシン」の単離・同定・解析により光と生命の関連性を理解するとともに、その光応答性を利用した生物種(動物・植物・細菌)の機能の光制御・操作法を開発することで、光による病気の治療や物質生産につなげるための教育・研究を行う。	須藤 雄気 教授
	神経生物物理学	治療薬が効かない神経難病(難治てんかん等)の新薬開発を目指し、脳機能を制御する電気信号を指標に、創薬標的分子の同定と新薬シード化合物の探索に関する教育・研究を行う。	(井上 剛 准教授)
	統合生化学	生化学を基盤とし、分子から個体までを繋ぐ統合的アプローチにより、輸送体(トランスポーター)の生理的・病態的役割を解明する。さらに、その分子メカニズムに基づく創薬基盤を構築し、次世代のトランスポーター創薬に資する教育・研究を行う。	宮地 孝明 教授
	核酸創薬化学	生体関連分子の分子認識能を基にした独特な複素環化合物の分子設計と有機合成化学的研究および、それらの生化学的機能評価研究を通じて、革新的な次世代医薬品開発の基盤構築に関する教育・研究を行う。	谷口 陽祐 教授

安全 性 評 価 学 (連携 講 座)	医薬品評価学	ヒトiPS細胞や臓器チップ、インシリコなどを活用し、医薬品や化学物質、ワクチン等に関する薬理作用・安全性、発現機序、新規試験法の開発などの研究を行う。これらを通じて、規制行政に資する教育・研究を行う。	諫田 泰成 客員教授
	生物有機化学	生理活性物質の合成・構造と機能・反応性・生体分子との相互作用に関する有機化学的研究を通じて、革新的な低分子・中分子医薬品開発の基盤となるケミカルバイオロジーに関する教育・研究を行う。	出水 庸介 客員教授
	医薬安全科学	医薬品の副作用回避を目的に、重症薬疹、薬剤性間質性肺炎、横紋筋融解症などの重篤副作用に関して、その発現要因、診断バイオマーカーの探索、発現機序、その行政利用について、主として医療情報データベース、臨床試料及び培養細胞等を対象にした研究を行う。これらを通じて、製造販売後安全対策の重要性の理解促進に資する教育・研究を行う。	齊藤 公亮 客員教授 (荒川 憲昭 客員准教授)
	安全性予測評価学	有害性発現機序に基づいたin vitro試験データ、in silicoモデルおよび大規模毒性データベースなどを統合的に活用した化学物質の安全性予測評価手法の開発と信頼性向上、国際調和、行政利用促進に資する教育・研究を行う。	平林 容子 客員教授 増村 健一 客員教授 (足利 太可雄 客員准教授)
	先進毒性評価学	動物実験の精緻化、新規試験法、バイオマーカーの構築、ならびに毒性メカニズムの解析を通じ、安全性評価の高度化に向けた研究を行う。化学物質や食品関連物質を対象とした手法の信頼性・妥当性評価、およびリスク評価への統合的応用に関する研究を通じて、国際協調に基づいた評価体系のトランスレーション(移行)に資する教育・研究を行う。	山田 隆志 客員教授
生体 金 属 作 用 学 (連携 講 座)	分子病態学	メチル水銀を中心とした生体金属の作用を分子病態レベルで解析することによって、生体金属に起因する疾患の病因と特性について研究を行う。これらの過程を通じて、生体金属に起因する疾患の診断、予防および治療に資する教育・研究を行う。	藤村 成剛 客員教授 (永野 匡昭 客員准教授) (住岡 暁夫 客員准教授) (丸本 倍美 客員准教授)
	臨床病態解析学	メチル水銀中毒の代表的疾患である水俣病は、主に感覚野、視覚野、聴覚野、小脳が傷害される中枢神経疾患である。脳磁計・MRIを使って病態解析を行うとともに、磁気刺激治療による治療法を検討する。これらの過程を通じて、中枢神経疾患の診断および治療に資する教育・研究を行う。	中村 政明 客員教授

※1 他部局所属の協力教員を示します。